



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 真一
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	23,544	△33.7	△2,426	—	△1,788	—	△1,999	—
2020年3月期第1四半期	35,507	△16.4	470	△85.5	548	△85.7	425	△84.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,190百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △1,104百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△81.78	—
2020年3月期第1四半期	17.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	255,618	152,371	59.3
2020年3月期	258,889	151,703	58.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 151,584百万円 2020年3月期 150,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	60.00	—	20.00	80.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,500	△32.2	△4,800	—	△4,300	—	△4,600	—	△188.19
通期	113,500	△28.8	△7,100	—	△6,500	—	△6,900	—	△282.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	24,893,841株	2020年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	450,092株	2020年3月期	450,092株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	24,443,749株	2020年3月期1Q	24,443,977株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	10
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績は、連結売上高235億44百万円(前年同期比33.7%減)、営業損失24億26百万円、経常損失17億88百万円、純損失19億99百万円となりました。

連結受注は258億円4百万円(前年同期比42.0%減)と、大幅に減少しました。前年同期に比べ、米中貿易摩擦などにより全地域で顧客の設備投資が低水準であることに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中国を除く地域で営業活動が停滞したことによります。

第1四半期における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。

(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については8ページを参照ください)

セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は、前年同期を下回りました。自動車の金型向けや、前年同期に受注がまとまった航空機向けが減少しました。

第2四半期は、第1四半期と同様に厳しい状況が継続すると見えています。政府の補助金等の施策が設備投資を後押しすることを期待しています。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアの全地域で前年同期を下回りました。

中国は、前年同期比で受注が減少しましたが、前四半期比では増加しました。新型コロナウイルスに対する政府の規制が緩和されたことに伴い、PCやスマートフォン関連の金型向けをはじめ、自動車や一般機械の部品加工向けなど、幅広い産業で受注が集中しました。

第2四半期の中国は、緩やかな回復をすると見えています。自動車向けを中心に、抱えている引き合いを着実に獲得することで、受注の回復に努めます。

インドおよびアセアン地域は、前年同期を下回りました。受注回復に時間がかかるとみえています。

セグメントⅢ(MAKINO INC.)

前年同期を下回りました。前年度下期から減少傾向が継続しており、自動車、航空機ともに低迷しました。

第2四半期も、厳しい状況が続く見通しです。その中でも比較的堅調な医療、半導体製造装置、SUVやピックアップトラック向けの受注獲得に努めます。

セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

欧州は前年同期を下回りました。前年同期にまとまった受注のあった航空機向けが大きく減少しました。

第2四半期も厳しい状況が続く見通しです。

当社の受注計画は、下期にかけて、新型コロナウイルスによる問題が改善に転じ、受注が回復する前提に基づいています。

第1四半期は、先述したセグメント別の受注状況の通り、おおむね期初に想定した計画に沿って推移したと判断しています。

第2四半期以降、新型コロナウイルス感染の第2波や、米中の貿易摩擦のさらなる拡大があった場合、受注の回復が遅れる懸念があります。

この中で、当社はお客様の既存設備の間を自律走行し、人による作業の自動化を実現する製造支援モバイルロボット「i-Assist」を国内で7月より販売開始しました。今後拡大するとみている自動化のニーズに応えるべく、さまざまな新技術の開発を進めています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ32億70百万円減少し、2,556億18百万円となりました。主な増減としては、受取手形及び売掛金99億73百万円の減少、投資有価証券43億72百万円の増加、現金及び現金同等物25億12百万円の増加、棚卸資産13億46百万円の増加などが挙げられます。

負債につきましては、仕入債務54億6百万円の減少、繰延税金負債13億44百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ39億38百万円減少し、1,032億46百万円となりました。

また、純資産につきましては、その他有価証券評価差額金30億55百万円の増加、利益剰余金24億87百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ6億67百万円増加し、1,523億71百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

計画に対し上期の経費が減少する見通しであるため、2020年4月30日に公表した業績予想を修正しました。具体的内容は本日(2020年7月31日)公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,748	58,261
受取手形及び売掛金	40,179	30,205
有価証券	35	41
商品及び製品	19,343	19,750
仕掛品	12,350	12,469
原材料及び貯蔵品	26,652	27,472
その他	8,683	6,687
貸倒引当金	△949	△964
流動資産合計	162,043	153,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,634	30,364
機械装置及び運搬具（純額）	8,712	8,853
工具、器具及び備品（純額）	4,250	3,937
土地	18,198	18,227
リース資産（純額）	3,541	4,143
建設仮勘定	2,471	2,996
有形固定資産合計	67,808	68,523
無形固定資産		
その他	4,581	4,396
無形固定資産合計	4,581	4,396
投資その他の資産		
投資有価証券	18,139	22,512
長期貸付金	813	817
繰延税金資産	3,084	2,991
退職給付に係る資産	127	120
その他	2,604	2,635
貸倒引当金	△315	△302
投資その他の資産合計	24,454	28,774
固定資産合計	96,845	101,694
資産合計	258,889	255,618

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,024	8,887
電子記録債務	11,944	9,675
短期借入金	4,767	5,077
1年内返済予定の長期借入金	597	605
リース債務	474	463
未払法人税等	432	519
その他	21,957	21,948
流動負債合計	52,198	47,176
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	20,445	20,460
リース債務	2,801	2,732
繰延税金負債	4,737	6,081
役員退職慰労引当金	109	112
退職給付に係る負債	5,512	5,536
その他	1,381	1,146
固定負債合計	54,987	56,069
負債合計	107,185	103,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,070	37,074
利益剰余金	93,424	90,936
自己株式	△2,011	△2,011
株主資本合計	149,626	147,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,602	11,658
為替換算調整勘定	△3,329	△3,319
退職給付に係る調整累計額	△4,024	△3,895
その他の包括利益累計額合計	1,248	4,442
非支配株主持分	828	786
純資産合計	151,703	152,371
負債純資産合計	258,889	255,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	35,507	23,544
売上原価	25,381	18,909
売上総利益	10,125	4,635
販売費及び一般管理費	9,655	7,061
営業利益又は営業損失(△)	470	△2,426
営業外収益		
受取利息及び配当金	442	265
受取賃貸料	55	61
為替差益	-	37
助成金収入	10	271
その他	173	160
営業外収益合計	681	795
営業外費用		
支払利息	89	71
為替差損	465	-
退職給付費用	-	79
その他	47	6
営業外費用合計	602	157
経常利益又は経常損失(△)	548	△1,788
特別利益		
固定資産売却益	17	11
投資有価証券売却益	-	3
雇用調整助成金	-	268
特別利益合計	17	283
特別損失		
固定資産除却損	0	1
新型コロナウイルス対応による損失	-	543
特別損失合計	0	544
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	566	△2,049
法人税等	142	△43
四半期純利益又は四半期純損失(△)	424	△2,005
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	425	△1,999

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	424	△2,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	276	3,056
為替換算調整勘定	△1,910	10
退職給付に係る調整額	104	129
その他の包括利益合計	△1,529	3,195
四半期包括利益	△1,104	1,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,103	1,195
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC. (アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH (ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	10,417	11,375	10,975	2,739	35,507
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,749	1,919	87	18	14,774
計	23,166	13,295	11,062	2,757	50,282
セグメント利益 又は損失(△)	333	878	15	△393	834

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	834
未実現利益の消去他	△364
四半期連結損益計算書の営業利益	470

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	7,689	8,392	6,200	1,262	23,544
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,483	884	53	0	7,421
計	14,173	9,276	6,254	1,262	30,966
セグメント利益 又は損失(△)	△1,684	288	△497	△446	△2,339

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	△2,339
未実現利益の消去他	△86
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△2,426

(追加情報)

連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	8,363	32.4	△30.9
II	9,448	36.6	△37.5
III	6,599	25.6	△49.9
IV	1,393	5.4	△65.7
合計	25,804	100.0	△42.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間末 2020年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	18,407	38.9	△31.2
II	9,474	20.0	△40.5
III	13,046	27.6	△20.2
IV	6,363	13.5	△50.3
合計	47,292	100.0	△34.2

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	7,689	32.7	△26.2
II	8,392	35.6	△26.2
III	6,200	26.3	△43.5
IV	1,262	5.4	△53.9
合計	23,544	100.0	△33.7

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。